南部中学校　第2学年　学年だより　絆（きずな）　2026年　11月号

日	曜	行　　事	日課	給食
1	日			
2	月	修学旅行		
3	火	〃		
4	水	〃		
5	木	修学旅行代休		
6	金	修学旅行代休		
7	土			
8	日			
9	月		45分	○
10	火		45分	○
11	水	5校時日課　実力テスト 14:40下校	50分	○
12	木	水曜日課 職員会　14:20下校	45分	○
13	金	⑤⑥生徒会役員選挙立会演説会	50分	○ 除去食：卵
14	土			
15	日			
16	月		50分	○
17	火		45分	○
18	水	ブロック人権　特別日課 ⑤公開授業	45分	○ 除去食：卵
19	木	⑤避難訓練(雨天時：金⑥の授業) 生徒会新旧引継式	50分	○
20	金	テスト範囲発表　避難訓練予備日	50分	○
21	土			
22	日			
23	月	勤労感謝の日		
24	火		50分	○除去食 ：そば米
25	水	15:45下校	50分	○
26	木	14:45下校	50分	○ 除去食：卵
27	金	15:45下校	50分	○
28	土			
29	日			
30	月	期末テスト1日目 ①音②技家③社	50分	×

【12月の行事予定】

12月　1日（火）：　期末テスト２日目
12月　2日（水）：　期末テスト３日目、専門委員会・代議員会
12月　4日（金）：　生徒会本部役員会
12月　9日（水）：　金曜日課　⑤⑥救命講習
12月11日（金）：　水曜日課
12月16日（水）～22日（火）：　三者面談
12月23日（水）：　終業式（給食あり）
12月29日（日）～12月31日（火）：　閉庁日

修学旅行

11/2（月）～4（水）の3日間、九州方面への修学旅行でした。出発の朝は、朝早くからたくさんの保護者の方や先生方にお見送りをしていただきました。少し雨が降った場面もありましたが、天候に恵まれ、平和学習や自主研修を行うことができました。特に平和講話では、多くの気づきや学びを得ることができました。

＜原爆資料館の見学や、語り部さんの話を聞いて＞

・原爆資料館を見学して一番驚いたのは、人が焼かれて地面に倒れていたこと。自分は経験していないけれど、その時の状況がすごく伝わってきた。

・原爆資料館の見学では、熱線で体の水分が抜け、丸こげで亡くなっている人、髪の毛が抜けてしまっている人、亡くなってしまっている赤ちゃんの様子を見て、今私達が幸せに暮らせていることが当たり前ではないということを改めて感じた。81年前に戦争があったことを私は忘れない....
そして、平和のことをここで考えるのをやめるのではなく、平和、原爆、戦争について考えをもっと深めていきたい。

・橋本さんの話を聞いて、原爆は1秒も経たないうちに、炎、爆風、煙、放射線がおそってくるのだと知った。逃げようと思っても体が動く前に飲み込まれてしまうと考えたら本当に怖いと感じた。

・11時2分で止まった時計は、原爆が落とされた時間を伝えるだけではなく、原爆によって日常が一瞬でうばわれてしまう恐ろしさを伝えていることが分かった。

・原爆資料館の見学では、目をそむけたくなるような資料がたくさんあったが、そのときの状況をきちんと「知る」ことが大切だと思った。また、今生きていることのありがたさ、これからの生き方を見つめ直すことも、自分にできる大切なことの一つだと思った。

・原子爆弾の恐ろしさは知っているつもりだったけど、改めてお話を聞いて驚くことが多かった。特に爆風の威力が数トンにもなることにびっくりした。橋本さんがおっしゃっていた「2度と核を使わせない」「知ることで超えられる」「唱えるだけではだめ」「微力だけど無力じゃない」などの言葉が心に響いた。言ったり書いたりするだけでなく、行動にうつすことが大切だと感じた。

＜保護者の皆様へ＞

先日は2泊3日の修学旅行の実施にあたり、多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

今回の修学旅行では、これまで学習してきた平和学習をさらに深めることを最大の目的としておりました。原爆資料館の見学や語り部さんのお話を聞き、現地でしか得ることのできない体験ができたように思います。また、見知らぬ土地でも班員同士で声を掛け合い、時間を意識して自主的に動く姿に、この 1 年半での大きな成長を実感いたしました。

保護者の皆様には、事前の体調管理から荷物のご準備や送迎など、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。